

《担当者名》教授 / 平野 剛

【概要】

医療施設における医薬品の適正使用や医療安全の推進に不可欠である医薬品情報の収集、解析、評価および提供の方法について演習を行う。また、臨床で問題となっているテーマについても演習を行い、情報を提案することを目指す。

【学修目標】

- ・ 医薬品適正使用に関する情報の収集、解析・加工、評価、提供を実施できる。
- ・ 医療の現場で問題となっているテーマについて説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医薬品情報の検索と評価(1)	医薬品適正使用に関する情報の収集、解析・加工、評価、提供の実際を説明できる。	平野 剛
2	医薬品情報の検索と評価(2)	医薬品相互作用に関する情報の収集、解析・加工、評価、提供の実際を説明できる。	平野 剛
3	医薬品情報の実際(1)	医療安全に関する情報を収集し、薬剤に係わる過誤の解析とリスクマネジメントを検証できる。(1)	平野 剛
4	医薬品情報の実際(2)	医療安全に関する情報を収集し、薬剤に係わる過誤の解析とリスクマネジメントを考察できる。(2)	平野 剛
5	医薬品情報の実際(3)	医療安全に関する情報を収集し、薬剤に係わる過誤の解析とリスクマネジメントを考察できる。(3)	平野 剛
6	医薬品情報の実際(4)	医薬品適応外使用の情報を収集し、その有用性・安全性について質的評価ができる。(1)	平野 剛
7	医薬品情報の実際(5)	医薬品適応外使用の情報を収集し、その有用性・安全性について質的評価ができる。(2)	平野 剛
8	医薬品情報の実際(6)	医薬品適応外使用の情報を収集し、その有用性・安全性について質的評価ができる。(3)	平野 剛
9	医薬品情報の実際(7)	院内特殊製剤の情報を収集し、その有用性、安全性および薬剤学的評価ができる。(1)	平野 剛
10	医薬品情報の実際(8)	院内特殊製剤の情報を収集し、その有用性、安全性および薬剤学的評価ができる。(2)	平野 剛
11	医薬品情報の実際(9)	院内特殊製剤の情報を収集し、その有用性、安全性および薬剤学的評価ができる。(3)	平野 剛
12	医薬品情報の実際(10)	抗悪性腫瘍薬の曝露とその影響に関する情報を検索し、その実態を把握できる。(1)	平野 剛
13	医薬品情報の実際(11)	抗悪性腫瘍薬の曝露とその影響に関する情報を検索し、その実態を把握できる。(2)	平野 剛
14	医薬品情報の実際(12)	抗悪性腫瘍薬の曝露とその影響に関する情報を検索し、その対応策を検証できる。(1)	平野 剛
15	医薬品情報の実際(13)	抗悪性腫瘍薬の曝露とその影響に関する情報を検索し、その対応策を検証できる。(2)	平野 剛

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

演習態度(20%)とレポートの評価(80%)により成績を評価する。

【教科書】

必要に応じてプリントを配布する。

【学修の準備】

日常的に医薬品情報に触れるよう努める必要がある。